

佐川町の維持向上すべき歴史的風致

計画期間
平成31年度(2019)～平成40年度(2028)

土佐藩筆頭家老深尾氏の城下町として栄えた佐川町は、江戸期から綿々とその伝統を守る酒造りの酒蔵や旧商家を中心に、風情ある町並みが形成されている。深尾氏は商いによるまちづくりを進めるとともに、代々文教施策にも力を入れた。その結果、現代において商いは佐川を代表する文化となり、文教の伝統は確実に継承され、多くの偉人を輩出している。また、佐川の偉人で「植物学の父」として知られる牧野富太郎博士は多くの住民に敬愛され、博士や植物を愛する心はこの町の文化として根付いている。さらに、町内の各地区には、地域固有の歴史を反映した民俗芸能が残り、地域住民によって受け継がれている。これらが一体となって佐川町独自の歴史的風致を形成している。

01.「文教」が醸し出す歴史的風致

佐川町は町内外から「文教のまち」と評されている。これは、江戸期、土佐藩筆頭家老であった佐川領主深尾氏が代々文教施策に力を入れ、その結果、多くの学者や政治家、文化人を輩出したことに由来する。文教の伝統は脈々と継承され、佐川の歴史や人々の心の中に通底している。

佐川文庫庫舎(旧青山文庫) ▶



02.「古城山」にみる歴史的風致

佐川町は古くから「桜のまち」として知られている。牧野公園は佐川で最も親しまれている桜の名所であり、公園とその背景となる佐川城跡が一体となった古城山の風景は風情ある風致を生み出している。これらは、植物学者牧野富太郎博士や博士を愛する人々らによって守られてきた。

牧野公園 ▶



03.「商い」にみる歴史的風致

佐川町は、土佐藩筆頭家老深尾氏の城下町として栄え、深尾氏が商売によるまちづくりを進めたことにより商いの文化が根付いた。「酒造り」は佐川を代表する「商い」となり、町内の商売繁盛を願う祭礼は人々によって受け継がれている。

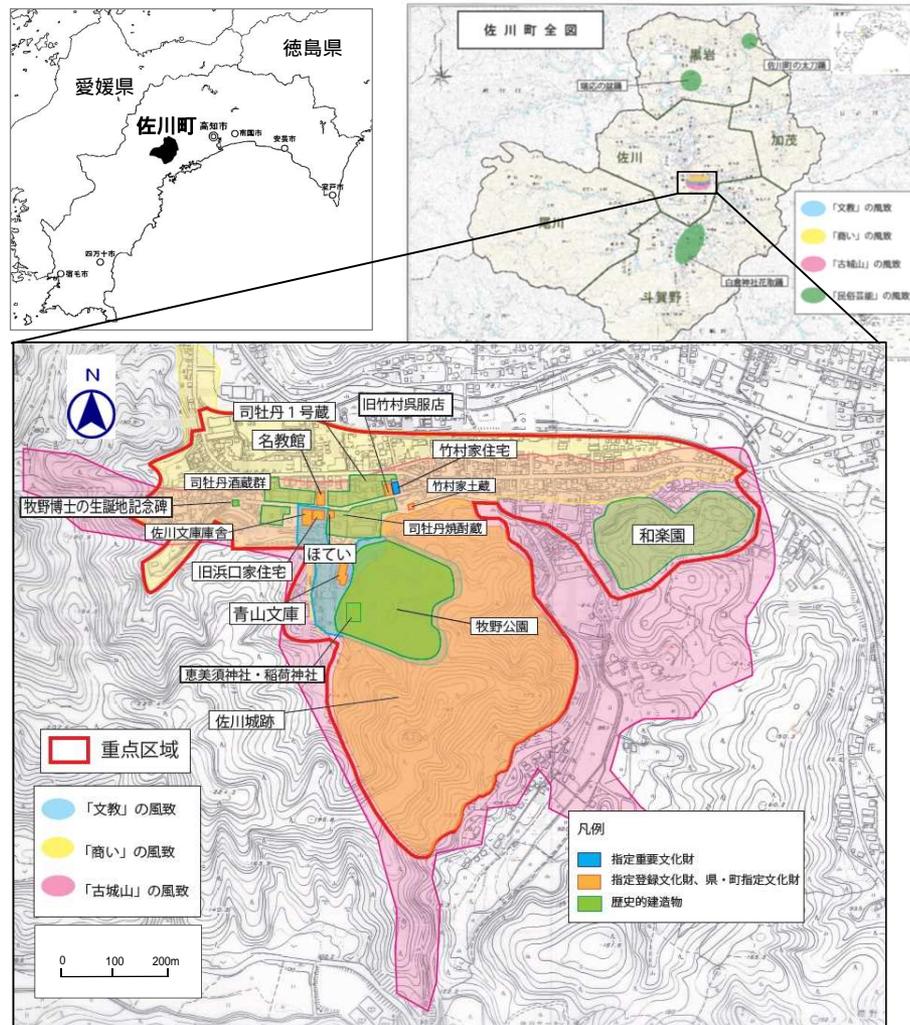
司牡丹酒造(株)1号蔵 ▶



04.「民俗芸能」にみる歴史的風致

佐川町の各地区には、古くは中世の頃から伝わる民俗芸能がある。これらは、豊かな「踊り文化」として、それぞれ民俗芸能が伝わる地域の人々によって継承され、神社における大祭での奉納といった本来の場での披露に加え、町行事への出演するなど幅広い活動を展開している。

白倉神社花取踊 ▶



佐川町の重点区域における施策・事業概要

重点区域の名称と面積

名称:歴史と文教の町並み 面積:約46ha

本計画では、歴史的建造物の保存・活用に取り組むとともに、歴史的資源等の保全・整備・活用、及び歴史と伝統を反映した人々の活動の推進を図り、歴史的風致の維持向上に資する事業を展開していく。事業の実施に当たっては、施設やその歴史的背景を十分に調査するとともに、複数の歴史的資源を一体的に整備・活用することで、町全域レベルで歴史的風致の維持向上を図る。

司牡丹酒造(株)焼酎蔵買取・整備事業

司牡丹酒造(株)焼酎蔵を買取り、老朽化により崩れかけている白壁の修理、内外装の整備、耐震補強工事を行い、酒造りの歴史展示施設としての機能を付加する。

司牡丹酒造(株)焼酎蔵▶



司牡丹酒造(株)1号蔵他酒造群修復・保存事業

司牡丹酒造(株)の1号蔵を筆頭とした酒蔵群の修復及び保存を行うことで、佐川町の歴史的町並みを構成する重要な建造物として一般公開を図る。

司牡丹酒造(株)1号蔵▶



佐川城跡整備事業

古城山にある佐川城跡の調査を実施し、当時の縄張りを明確にしたうえで、旧道・掘等の再生、木の伐採、遊歩道の整備等を行うことで、かつて城郭の一部であった牧野公園との一体化を図る。

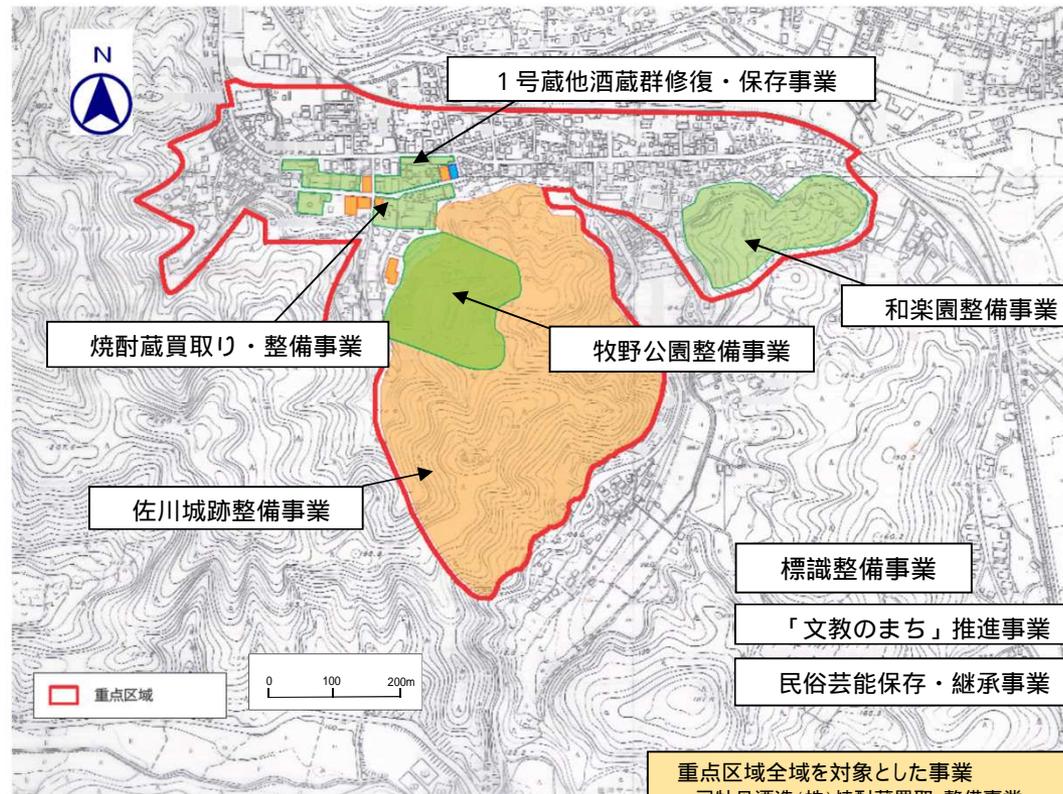
佐川城跡の石垣▶



「文教のまち」推進事業

佐川町の歴史的風致である「文教」をさらに推進するため、地域における歴史・文化等に着眼した「文教活動」を支援する。

牧野公園に関する文教活動▶



「文教のまち」推進事業

佐川町の歴史的風致である「民俗芸能」の保存・継承を図るため、地域における民俗芸能に関する活動を支援する。

牧野公園に関する文教活動▶



重点区域全域を対象とした事業

- 司牡丹酒造(株)焼酎蔵買取・整備事業
- 司牡丹酒造(株)1号蔵他酒造群修復・保存事業
- 佐川城跡整備事業
- 牧野公園整備事業
- 和楽園整備事業

市全域を対象とした事業

- 標識整備事業
- 「文教のまち」推進事業
- 民俗芸能保存・継承事業